

<対策のポイント>

ロボット、AI（人工知能）、IoT等の先端技術の活用実証や、その技術の橋渡し役となるシステムインテグレーター（S I e r）との接点づくりの促進を図ることにより、食品産業におけるイノベーションを創出し、食品製造業から外食・中食産業に至る食品産業全体の生産性向上を推進します。

<政策目標>

食品製造業の労働生産性の伸び率の向上（年3.0% [平成33年度まで]）

<事業の内容>

1. モデル実証の支援

- ① 革新的技術活用実証事業
 - 生産コスト低減、経営管理能力向上のためのロボット、AI、IoT等の活用等による生産効率向上など、革新的な技術の活用実証を支援します。
- ② 業種別業務最適化実証事業
 - 専門家の工場診断や改善指導による生産性向上などを通して、業務の最適化や人材育成を図る取組を支援します。

2. 研修会等の開催

- 食品事業者の生産性向上に対する意識改革やS I e rとの接点づくりの促進を目的とした研修会等の開催や業界内で横展開する取組を支援します。

3. 先進・優良事例等の調査

- ロボット、AI、IoT等の新たな技術の活用等により生産性向上を図る取組などの先進・優良事例調査等を支援します。

<事業イメージ>

1. モデル実証の支援

- ① 革新的技術活用実証事業
ロボット、AI、IoT等の活用等による革新的な技術の活用実証
- ② 業種別業務最適化実証事業
専門家の工場診断や改善指導による業務の最適化、人材育成

2. 研修会等の開催

食品事業者の生産性向上に対する意識改革等を目的とした研修会等の開催、業界内での横展開

3. 先進・優良事例等の調査

生産性向上の先進・優良事例調査等



食品産業のイノベーション推進・生産性向上

<事業の流れ>

定額、1/2

